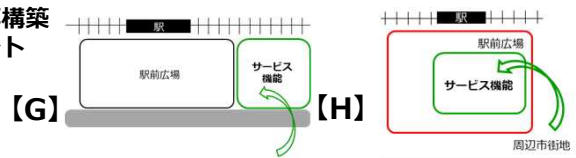


# ⑮ 宝積寺駅

駅まち再構築  
のポイント



## ● 駅まち再構築のポイント

**課題** 定住・交流人口の減少により駅まち空間の活力が低下

- ・ 少子高齢化による商店の後継者不足やモータリゼーションの進展により、駅周辺の活気が減少



**解決策**

**【G】 サービス機能を駅広隣接地区に集約**

- ・ 移住促進施設、創業支援施設の整備により定住人口の増加を目指した

**解決策**

**【H】 サービス機能を駅前広場に集約**

- ・ 既存施設を活用した情報発信施設、ホールの整備により賑わい創出



THE CREATORS DEPARTMENT  
出典：高根沢町ウェブページ

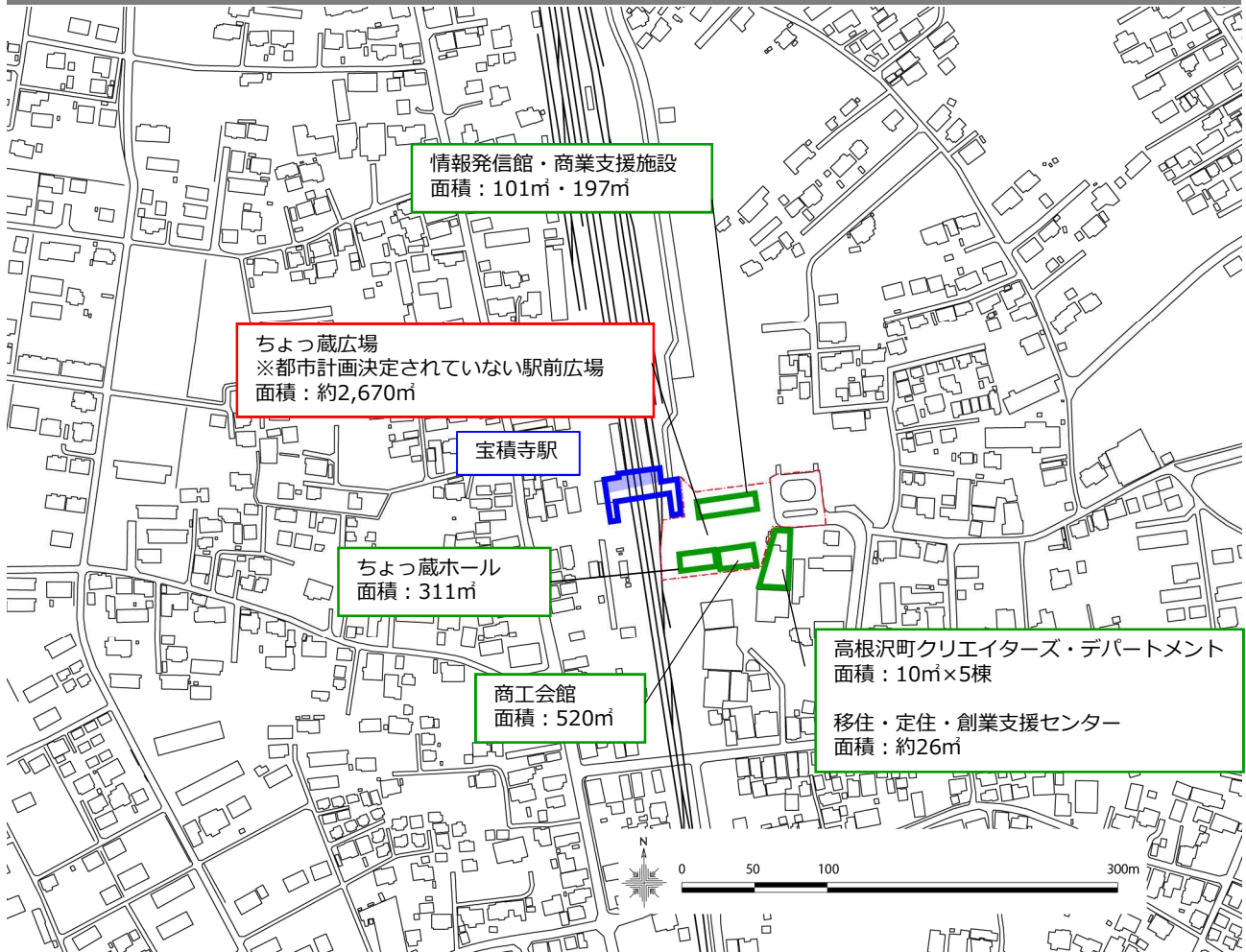


ちよつ蔵広場  
出典：まちづくり交付金 事後評価シート

## ● 「空間の共有」と「機能の連携イメージ」

機能	空間	駅まち空間				周辺市街地
		駅空間		駅前空間		
		改札内	改札外	駅前広場	駅広隣接地区	
交通空間	乗降機能 交通結節機能		橋上駅舎整備		<b>駅前広場に公益的施設を整備</b>	
				ちよつ蔵ホール ちよつ蔵広場		
環境空間	交流機能 防災機能				<b>駅広隣接地区に公益的施設を整備</b>	
					高根沢町クリエイターズ・デパートメント	

● 駅周辺地図



出典：国土地理院 基盤地図情報

凡例 (✓がついているものが該当)

<b>駅前空間</b>		<b>駅空間</b>	
駅前広場等 (都市計画決定区域)		✓ 駅施設 (駅ビル含む)	
✓ 駅前広場等 (都市計画決定なし)		✓ 改札内空間	
歩行者デッキ		駅前広場・駅広隣接地区へ拡張した範囲	
駅広隣接地区・駅空間へ拡張した範囲		<b>周辺市街地</b>	
駅広隣接地区 (連携し整備した地区)		✓ サービス機能・シンボルロード等	
		建物内に設置されたサービス機能	

● 基礎情報

所在地	栃木県塩谷郡高根沢町	自治体人口	2.9万人 (2020年1月1日)
乗り入れ路線	2線 ・ JR東日本宇都宮線、烏山線	乗降客数	4,404人/日 (2017年度)

● 駅まち再構築の実現における工夫

■ 地方創生関連交付金を活用し駅広隣接地区に公益的施設（移住促進施設、創業支援施設）を整備した

THE CREATORS DEPARTMENT（お試し創業施設）の整備

- 高根沢町の定住人口を図る取組みとして、地域再生計画「ワンストップ！移住・定住・創業支援計画」の一環として、駅前広場に隣接して整備された。
- 創業支援施設（お試し創業店舗、10m程度のログハウス）を将来高根沢町での創業を検討するクリエイターへ貸し出しを行っている。
- 移住・定住・創業支援センターも設置・開所し、ワンストップで移住・定住相談、創業支援の機能を提供している。



ログハウスの外景  
出典：高根沢町ウェブページ



ちよっ蔵広場と連携したイベント開催  
出典：栃木のマルシェ WEBページ

■ 駅前広場に公益的施設（情報発信施設、ホール）を整備した

既存米蔵を活用した文化交流施設（ちよっ蔵ホール）と駅前広場（ちよっ蔵広場）の整備

- 宝積寺駅周辺は、モータリゼーションの進展に伴う商業施設の郊外進出、経営者の高齢化・後継者不足に伴う空き店舗の増加、商店街への集客や乗客や歩行者をうまく滞留させる仕組みが不足していることから中心市街地としての魅力・求心力が低下していた。
- 町商工会に「高根沢まちづくり委員会」が組織され、イベント開催等によるまちづくりの気運が高まっていること、駅の橋上化による東西分断解消の提案を受けて、駅前の既存の倉庫群と未利用地等の開発に踏み切った。
- 建築家隈健吾氏設計監修による駅舎と、既存の米蔵を活用したちよっ蔵ホール、観光交流センター、商工会議所が広場を囲むように整備し、賑わい交流の場として活用している。



ちよっ蔵広場  
出典：高根沢町ウェブページ



高根沢商工会議所  
出典：栃木県ウェブページ

事業の概要

クリエイターズ・デパートメント事業	
整備内容	チャレンジショップ
整備主体	高根沢町
管理主体	高根沢町

駅周辺地区整備事業	
整備内容	駅前広場 ホール、観光交流センター
整備主体	高根沢町
管理主体	TMO高根沢（広場指定管理）



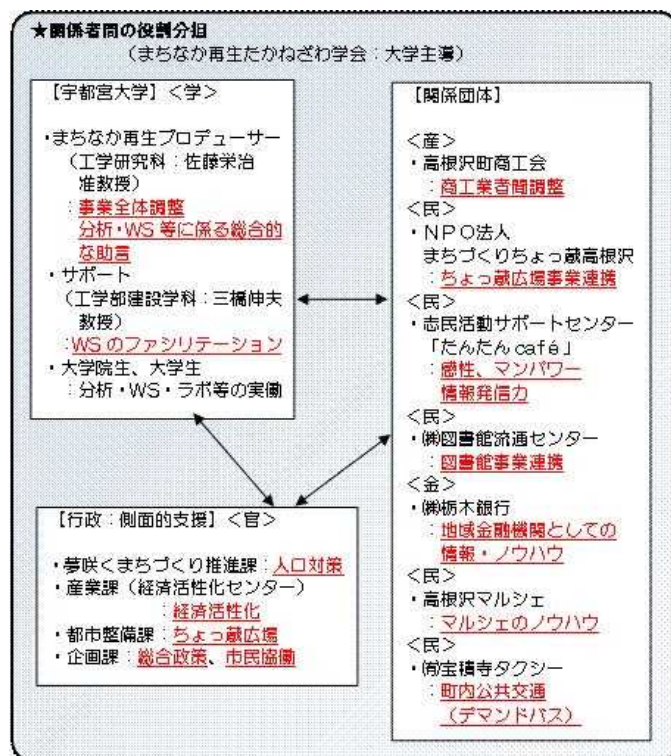
## ● 駅まち再構築の経緯

- 2000年に中心市街地活性化基本計画を策定し、宝積寺駅前にちよっ蔵広場・ちよっ蔵ホールを整備してきたが中心市街地の活力の低下に歯止めがかからない状況であった。
- 2015年に「高根沢まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「まちなか再生推進事業」として宇都宮大学と高根沢町が「まちなか再生たかねざわ学会」を組織して、産官学金民連携による活性化を図るプロジェクトが始動した。（高根沢町定住人口増加プロジェクト）
- (一財)ふるさと財団の「まちなか再生支援事業(補助金)」、総務省の「地域おこし協力隊」を活用し、今後の中心市街地のあり方を検討し、町全体の賑わい創出と活性化につなげることを目標としている。
- また、内閣府より地域再生計画の認定を受け、地方創生関連交付金を活用して「ワンストップ! 移住・定住・創業支援計画」を推進している。

### 経緯

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
上位計画				都市再生整備計画 (宝積寺駅周辺地区)										まち・ひと・しごと創生総合戦略		地域再生計画			都市再生整備計画 (宝積寺駅周辺地区)
都市計画																			
事業					橋上駅舎 整備事業	ちよっ蔵広場 整備事業	ちよっ蔵ホール 整備事業	商工 会館						高根沢町定住人口増加 プロジェクト 策定			移住・定住・創業支援センター事業	クリエイターズ・デパートメント事業	高根沢町宝積寺駅西 第一土地区画整理事業
全体調整		高根沢まちづくり委員会										TMO高根沢							まちなか再生たかねざわ学会

### 事業実施時の体制



出典：(一財)ふるさと財団平成27年度まちなか再生支援事業報告書

● 上位計画

- 高根沢町都市計画マスタープラン（2017.4）

駅東口整備（ちよつ蔵広場等）を活かした市街地活性化・交流・公共交通等の拠点づくりが掲げられている。

まちづくりの基本方針図

